

「第3波」

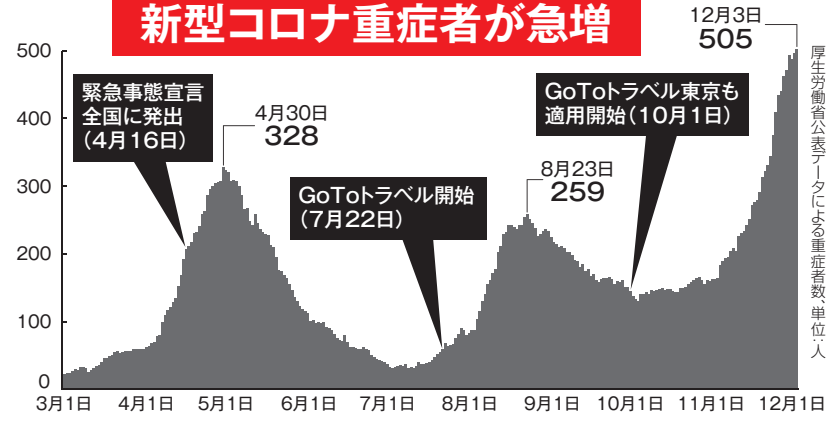
抑止へ

提言



全文はこちら

新型コロナ重症者が急増



新型コロナウイルスの感染が急拡大しています。命や暮らし、営業を守るため日本共産党はこう提案しています。

検査・追跡・減収補てんを

感染の急拡大を抑えるためには、無症状感染者の発見、保護がカギ。感染急増地などでの大規模・地域集中的な検査や病院や高齢者施設などで

の定期的な検査の推進を政府の大方針にすえるべきです。感染追跡を行う専門家の配置と保健所の強化、医療機関への減収補てんなども必要です。

全国一律のGoTo停止を

「GoToトラベル」事業の推進が感染者急増の契機になったと指摘されています。全国一律の「GoTo」はやめ、地域ごとに観光・宿泊業を支援する

制度に切り替えるべきです。小規模事業者にも届く制度改善、再度の持続化給付金も必要。

日本共産党

コロナ感染急拡大

菅政権 無為無策

新型コロナウイルスの新規感染者数が全国で連日2千人を越え、重症者数も過去最多の505人（12月3日）に。

厚生労働省の専門家の助言組織は、手術や救急受け入れの制限、診療科が全く違う医師が新型コロナの診療に当たらざるを得ないなどの状況から「このままの状況が続けば、通常の医療では助けられる命が助けられ

なくなる」と警鐘を鳴らします。政府の分科会は「GoToトラベル」について一時停止などを求めるなど早期の強い措置を提言しています。

しかし菅首相は「マスクの着用や手洗い、3密の回避」など国民に自助を求めるだけに「GoTo」に固執。無為無策です。感染急増は菅政権による人災です。

大阪 医療崩壊の危機 共産党が対策要請

全国最悪の規模と速度で感染が広がる大阪。病床がひっ迫しています。とりわけ深刻なのが大阪市ですが、対策会議が5月22日以降12月4日まで開かれませんでした。



医療従事者と懇談する共産党国会議員ら（11月27日、大阪市）

共産党は国会議員らが現場の調

査、府や市に対策を申し入れるなど奮闘中です。



比例代表は「**日本共産党**」と書きます
小選挙区は「候補者の名前」で

衆議院比例代表は政党名で投票します。参議院と違い個人名は無効です。